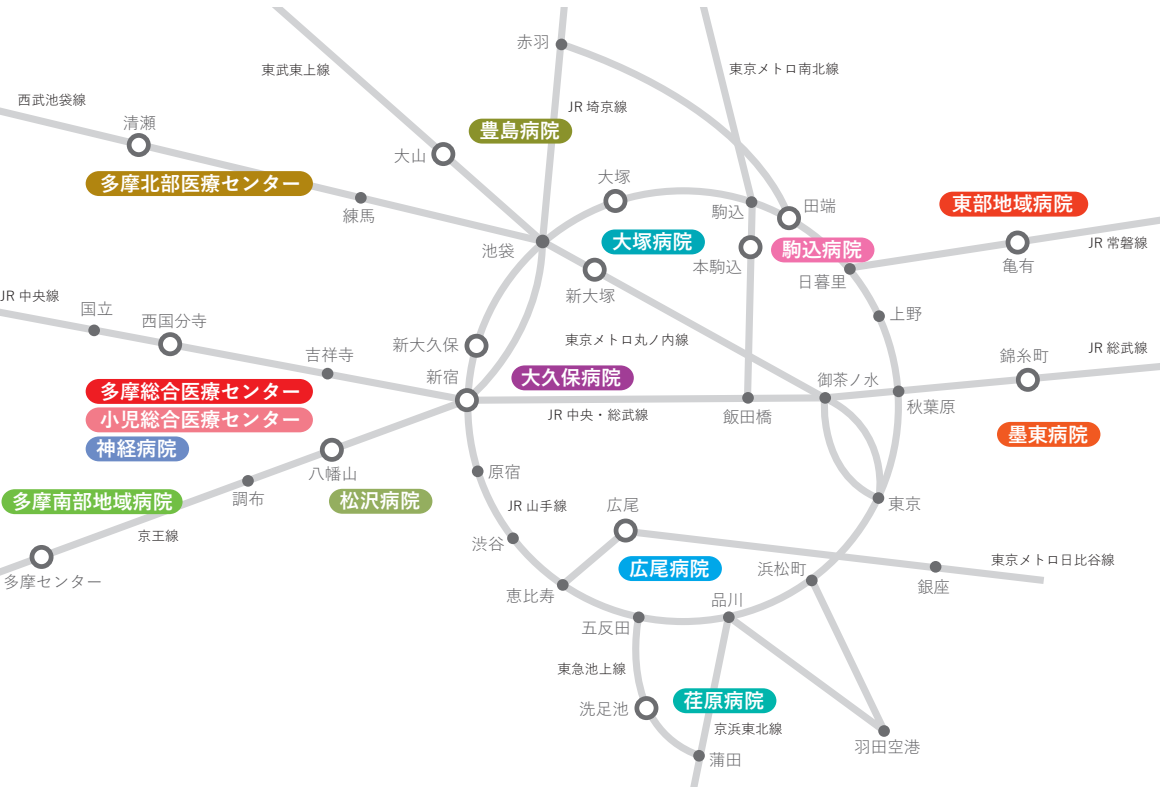


病院一覧

● 広尾病院	☎ 03-3444-1181	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
● 大久保病院	☎ 03-5273-7711	〒160-8488	東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
● 大塚病院	☎ 03-3941-3211	〒170-8476	東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
● 駒込病院	☎ 03-3823-2101	〒113-8677	東京都文京区本駒込三丁目18番22号
● 豊島病院	☎ 03-5375-1234	〒173-0015	東京都板橋区栄町33番1号
● 荏原病院	☎ 03-5734-8000	〒145-0065	東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
● 墨東病院	☎ 03-3633-6151	〒130-8575	東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
● 多摩総合医療センター	☎ 042-323-5111	〒183-8524	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
● 多摩北部医療センター	☎ 042-396-3811	〒189-8511	東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
● 東部地域病院	☎ 03-5682-5111	〒125-8512	東京都葛飾区亀有五丁目14番1号
● 多摩南部地域病院	☎ 042-338-5111	〒206-0036	東京都多摩市中沢二丁目1番2号
● 松沢病院	☎ 03-3303-7211	〒156-0057	東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号
● 神経病院	☎ 042-323-5110	〒183-0042	東京都府中市武蔵台二丁目6番1号
● 小児総合医療センター	☎ 042-300-5111	〒183-8561	東京都府中市武蔵台二丁目8番29号

※神経病院、小児総合医療センターでは初期臨床研修を実施しておりません。



地方独立行政法人
東京都立病院機構
Tokyo Metropolitan Hospital Organization

地方独立行政法人 東京都立病院機構 法人本部 総務部 人事課 人材育成グループ

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館3階 電話番号 03-5577-2141

令和8年6月発行

登録番号8(1)



令和9年度

地方独立行政法人 東京都立病院機構

臨床研修医募集案内



広尾病院 ●

大久保病院 ●

大塚病院 ●

駒込病院 ●

豊島病院 ●

荏原病院 ●

墨東病院 ●

多摩総合医療センター ●

多摩北部医療センター ●

東部地域病院 ●

多摩南部地域病院 ●

松沢病院 ●





都立病院機構の目指す方向性

将来にわたって、都民の誰もが
質の高い医療を受けられ、
安心して暮らせる東京を実現

高齢化や医療の高度化など医療環境の変化のスピードが加速する中でも独法化のメリットを
いかして、柔軟な人材確保や迅速な経営判断などにより都民ニーズに機動的に対応。

行政的医療等の
一層の充実

- ・行政的医療等の充実・強化
- ・災害・感染症等への着実な対応

地域医療の
充実への貢献

- ・地域包括ケアシステム構築への貢献
- ・地域とともに人材を確保・育成・活用



令和9年度 募集要項

	募集人員		選考日程（予定）	
	医科	歯科	医科	歯科
広尾病院	6名	1名	8/29（土）	9/3（火）
大久保病院	4名	—	8/21（金）	—
大塚病院	6名	1名	8/1（土）	8/21（金）
駒込病院	12名	1名	8/15（土）	8/15（土）
豊島病院	6名	1名	8/22（土）・23（日）	9/5（土）
荏原病院	5名	1名	8/20（木）・21（金）	9/4（金）
墨東病院	14名	1名	8/14（金）・15（土）	8/22（土）
多摩総合医療センター	13名	1名	8/22（土）	8/29（土）
多摩北部医療センター	5名	1名	7/25（土）・8/1（土）	7/31（金）・8/7（金）
東部地域病院	3名	—	8/7（金）・25（火）	—
多摩南部地域病院	6名	—	8/4（火）・18（火）・25（火）	—
松沢病院	8名	—	8/22（土）	—

応募資格	令和9年施行の医師国家試験を受験する予定の方
処遇（令和8年度）	〔身 分〕 東京都立病院機構 任期付病院職員 〔勤務形態〕 週5日勤務（宿直あり） 〔有給休暇等〕 1年目10日付与。他に夏季休暇等あり 〔報 酬〕 採用前に改定があった場合は、その定めによる。 月額約326,280円（宿直月4回の場合） 他に賞与等あり 〔保 険〕 健康保険、厚生年金保険あり 〔宿 舎〕 あり（詳細は、各病院にお問い合わせください。）
選考方法／出願方法及び時期	各病院のホームページをご覧ください。
病院見学	各病院にお問い合わせください。
ローテイト	所属病院での研修で不足する症例や、経験できない症例がある場合は、病院間の連携により補うことができます。

注意事項 研修プログラム（募集人員及びスケジュールを含む）については、今後変更となる可能性があります。



基本的診療能力の 修得をベースとした プログラム

01

各病院では、臨床研修の基本理念※を遵守した研修プログラムを用意しています。また、必修科目については、全てのプログラムで内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修研修とし、それらの分野の到達目標が達成されるように病院ごとにプログラムを立案しています。目標が達成されていることの確認に研修評価を実施しています。

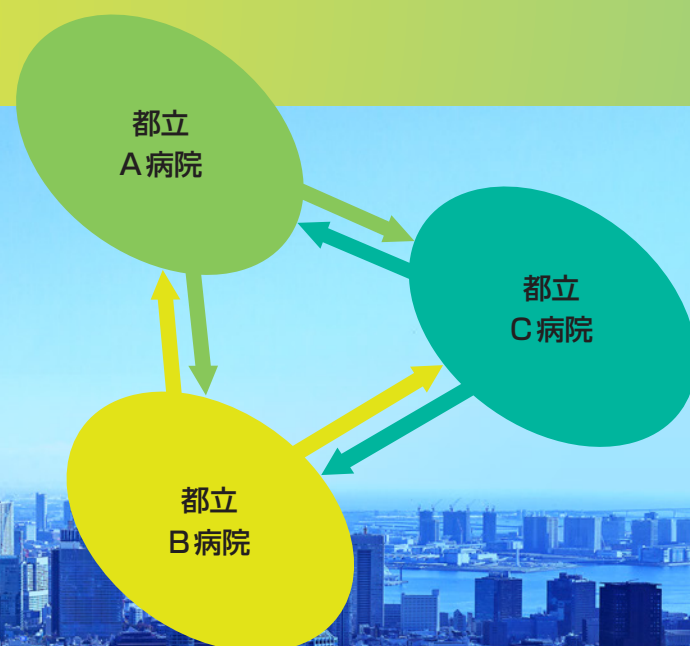
※臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

病院の特色を活かした プログラム

02

各病院では、それぞれの特色を活かした魅力ある研修プログラムを用意しています。研修プログラムの詳細については、各病院のホームページをご覧ください。また、臨床研修病院間では下図のような連携体制を構築しており、その結果として各病院の特色を活かした魅力ある研修プログラムが可能になっています。必要に応じて複数の病院で研修を行うことが特徴のひとつです。

※採用選考及びマッチングの希望順位登録は病院ごとに行います。



東京医師アカデミーとの 整合性を重視した プログラム

03

基本的な診療能力を土台とし、さらに総合診療能力を兼ね備えた専門医を育成する専門医受験資格取得等を目的とした東京医師アカデミーの研修プログラム（5ページ参照）と整合性を持たせた研修プログラムを用意しています。専門医受験資格取得は東京医師アカデミーの目的の一つになっています。

研修成果の発表、 指導医と研修医の 交流

04

毎年2月頃に、12病院の各病院代表レジデントが研修成果を発表し、指導をアおぐ「ジュニアレジデント合同発表会」を開催しています。

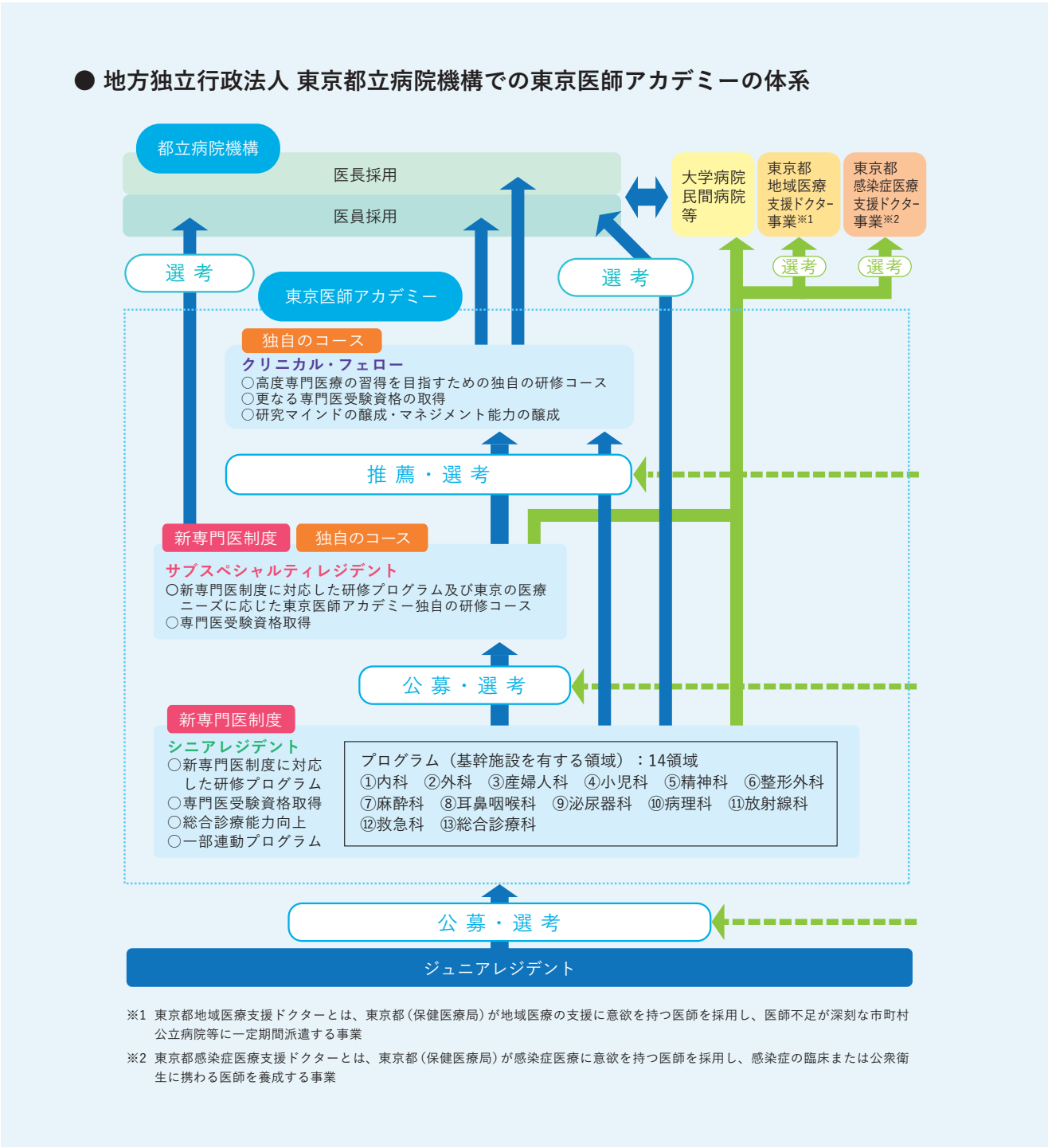
この発表会は、研修医が臨床研修の成果を発表することにより、お互いに医師としての視野を広げることが目的としています。





東京医師アカデミーについて

2年間の基本的診療分野の研修後、希望者は選考により、「東京医師アカデミー」の体系の中で、専攻医として、専門医受験資格取得等を目的とした専門臨床研修を受けることもできます。また、シニア終了後に、より高度な専門臨床能力を身につけたい方については、クリニカル・フェロー、サブスペシャルティレジデントの道も用意されています。



東京医師アカデミーは14病院のスケールメリットと豊富な症例を活かし、専門臨床研修について、カリキュラムの充実や指導体制の強化等を図り、これまで以上に、臨床を重視した質の高い医師を育成するシステムです。



基本領域設置プログラム一覧

東京医師アカデミーでは、次のとおり13領域46プログラムを申請しています。

※令和8年5月末現在。申請中及び申請予定のプログラムを含みます。

病院名	主な重点医療等	病床数	医師アカデミーで研修を行うことができる基本領域 （新専門医制度）												
			内科	外科	産婦人科	小児科	精神科	整形外科	麻酔科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	病理科	放射線科	救急科	総合診療
広尾病院	救急医療（三次、熱傷等）、災害医療、島しょ医療、小児医療、精神科身体合併症医療、障害者歯科医療	408	◎	○	○	○	○	○	◎			○		◎	◎
大久保病院	救急医療（二次、脳卒中）、腎医療、災害医療	304	◎	○					○			○			◎
大塚病院	周産期医療、小児医療、児童精神科医療、救急医療（二次、脳卒中）、障害者（児）医療、災害医療	405	◎	○	○	◎			◎		○		○		
駒込病院	がん医療（ゲノム、難治性、合併症併発等）、造血幹細胞移植医療、感染症医療（主に一類・二類）、救急医療（二次）、災害医療	815	◎	○	○		○	○	◎	○	◎	◎	◎		◎
豊島病院	救急医療（二次、脳卒中、急性心筋梗塞）、がん医療、周産期医療、小児医療、精神科救急医療、精神科身体合併症医療、感染症医療（主に二類）、障害者歯科医療、災害医療	438	◎	○	○	○	◎		○		○	○			
荏原病院	救急医療（二次、脳卒中）、感染症医療（主に一類・二類）、がん医療、精神科身体合併症医療、小児医療、障害者歯科医療、災害医療	461	◎	○	○	○	◎		◎				○		
墨東病院	救急医療（三次、熱傷等）、周産期医療、小児医療、感染症医療（主に一類・二類）、がん医療（合併症併発等）、精神科救急医療、精神科身体合併症医療、障害者歯科医療、災害医療	765	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎		○	○	○	◎	◎
多摩総合医療センター	救急医療（三次、熱傷等）、周産期医療、がん医療（精密検査・合併症併発等）、精神科救急医療、精神科身体合併症医療、感染症医療、難病医療、障害者歯科医療、移行期医療、災害医療	789	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
多摩北部医療センター	救急医療（二次、脳卒中、急性心筋梗塞）、がん医療、小児医療、障害者歯科医療、災害医療	337	◎	○	○	○			○		○	○		○	◎
東部地域病院	救急医療（二次、脳卒中、急性心筋梗塞）、がん医療、小児医療、災害医療	314	○	○	○				◎						
多摩南部地域病院	救急医療（二次、脳卒中、急性心筋梗塞）、がん医療、小児医療、災害医療	287	◎	○					○		○				○
神経病院	難病医療（神経、筋疾患）、災害医療	304	○			○			○	○		○	○		○
小児総合医センター	小児救急医療（三次）、小児がん医療、周産期医療、小児専門医療（心臓病、腎臓病等）、児童・思春期精神科医療、小児結核医療、小児難病医療、アレルギー疾患医療、障害児歯科医療、移行期医療、災害医療	561		○		◎	◎	○	○	○		○	○	○	○
松沢病院	精神科救急医療、精神科身体合併症医療、精神科専門医療（アルコール、薬物依存等）、医療観察法医療、精神障害者歯科医療、災害医療	898	○	○			◎								◎

◎ … 基幹施設 ○ … 連携施設

※研修コースの詳細は、P7～をご覧ください。所属するコース以外での研修を希望する場合等は適時相談に応じます。

※内科系コース、外科系コースの一部については、総合診療能力の醸成・向上のため、広尾病院、墨東病院又は多摩総合医療センターにおける3か月程度のER / 救命救急短期研修を必ず受講していただきます。その他のコースについても、同研修を受講することを推奨しています。

広尾病院



Program 研修プログラムの特徴

救急災害医療センターとして救急医療を重点医療として
いるため、多数の救急患者を経験でき、総合診療科、麻酔科、
救命救急研修がセットで系統的に研修できるプログラムと
なっています。また、総合診療基盤を有する地域の基幹病院
として急性期医療を担うことから、一般臨床でほとんどす
べての疾患、病態を経験することができます。

さらに、先進的な高度医療も経験することができ、多く
の学会の認定教育施設になっています。ローテイト診療各科
のカンファレンス、各種の教育研修行事に加え、指導医に
よる集合講義、臨床病理検討会など幅広い研修機会を設け
ています。地域医療として島しょでの研修を行うことができ
るほか選択科目では関心のある診療科で専門性を深めるこ
ともできます。



研修責任者の声

循環器科医長

北條 林太郎（研修管理委員長）



当院は、『東京ER・広尾』を標榜している救急医療、災害医療、
島しょ医療、心臓病医療及び脳血管疾患医療を特徴としていま
す。救急医療は1から3次救急を受けており、皆さんには、ER(内
科・外科・小児等)、救命救急センターの研修を通して、幅広い
経験を積んで頂きます。東京都23区内唯一の基幹災害拠点病院
として災害医療を学ぶ機会があり、また、島しょ医療として救
急患者の航空搬送や、小笠原諸島や伊豆諸島での研修を受ける
こともできます。その他、定期的に行われる集合講義や、年に
数回ICLS、JMECCといった蘇生コースを開催し、皆様の研修
をサポートしています。院内での症例・臨床研修報告を通じて、
学会発表の指導も行います。また、令和5年度より新たに病院総
合診療科が設立され、さらに幅広い研修を行える環境となりま
した。ぜひ、当院で充実した2年間の研修を送りましょう。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R7採用)

名取 啓



当院では初期研修医がリーダーとしてERでの1次、2次救急
の対応にあたるため、鑑別診断を考え、必要な検査・診療をする
ための思考力を身に付けることができます。また指導医の先生方
によって開かれる「集合講義」は実践的な知識ばかりで、すぐに実
臨床に活用することができ、大変良い刺激となっています。

当院は東京都の島しょ医療の支援を担っており、急患搬送時の
ヘリ搭乗や離島研修では、院内で培った臨床能力を発揮する良い
機会となります。また、当院で研修できない診療科は、協力型病
院での研修も可能です。研修医同士は非常に仲が良く、ともに支
えあいながら楽しく日々の研修を行っています。そんな当院の雰
囲気を感じるためにも、ぜひ一度見学にお越しください。

Information 病院概要

救急・災害医療、島しょ医療、心臓病医療及
び脳血管疾患医療に重点を置いた総合的な病院
であり、「東京ER・広尾」を擁するほか、心臓循
環器救急及び熱傷救急にも対応しています。東
京都の基幹災害医療センターとなっています。

所在地	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
TEL	03-3444-1181
病床数	一般378 精神30
診療科目	内科、糖尿病内分泌科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、感染症内科、 病院総合診療科、リウマチ膠原病科、呼吸器科、循環器科、神経科、小児科、外科、 心臓血管外科、整形外科、外傷センター、リハビリテーション科、脳神経外科、形成外科、 皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、救命救急センター、 総合救急診療科、麻酔科、内視鏡科、輸血科、検査科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

大久保病院



Program 研修プログラムの特徴

当院の研修は、1年次に内科(6診療科)36週間、外科8週間、
麻酔科8週間でローテートします。2年次は、小児科・産婦
人科・精神科・地域医療・ER研修の各4週間(いずれも院外
研修)に加え、選択診療科を回ります。救急研修は計12週間
が必修で、院外ER研修4週間に、麻酔科4週間分と当直を
組み合わせて構成します。選択診療科の期間は計32週間(原
則4週間単位)とし、そのうち8週間以内は院外研修が可能
です。一般外来研修は内科・外科研修期間中に、週1回半日
を並行して行います。また、サポート体制としては、研修医
1名に対し1名の指導医がメンターとして担当し、臨床研修
医委員会が習得度や指導状況を定期的に確認・バックアップ
する体制を整えています。



研修責任者の声

麻酔科医長

山縣 克之（臨床研修管理委員長）



大久保病院は新宿の地域医療を支えています。当院の研修で
は、急性期から回復期、慢性期まで幅広い症例に向き合います。
この過程で、救急対応や多職種連携、地域との協働に携わり、
実践力と俯瞰的な視点が養われます。さらに、指導医との距離
の近さや診療科の垣根の低さといった当院の強みは、研修生活
をより充実したものにしてくれるでしょう。こうした中規模病
院ならではの良さが活かされる環境で、主体的に学び、成長を
志す皆さんをお待ちしています。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R7採用)

野田 耀司



本院は新宿という都市部に位置し、多様な背景を有する患者層
に対する診療を経験できる点に特色があります。日常診療に加え、
救急医療においても軽症から重症まで幅広い症例に対応する機会
に恵まれており、臨床医として求められる基本的診療能力を実践
的に修得することが可能です。さらに、各診療科との連携も密で
あり、上級医の丁寧な指導のもと主体的に診療に参画できる環境
が整っています。ぜひ一度病院見学に来て、その雰囲気を感じて
みてください。

Information 病院概要

大久保病院は、新宿区歌舞伎町に位置する区
西部医療圏(新宿区、中野区、杉並区)の中核病
院です。急性期病院として、腎医療、循環器医療、
脳卒中医療、がん医療、救急医療(二次救急中心)
を重点医療とし、また地域包括ケア病棟をもつ
地域医療支援病院として地域の医療機関や住民
と密接につながった地域医療を推進していま
す。当院周辺には在留外国人も多く、病院の国
際化にも取り組んでいます。

所在地	〒160-8488 東京都新宿区歌舞伎町二丁目44番1号
TEL	03-5273-7711
病床数	一般304
診療科目	内科(消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、 総合診療科)、外科(一般外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科)、整形外科、 リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科/移植外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、精神科、皮膚科、救急科、病理診断科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

大塚病院



Program 研修プログラムの特徴

内科6か月、外科、小児科、産婦人科、精神科（協力施設）各1か月、救急3か月（うち1か月は協力施設でのER研修も選択可）、地域医療1か月に加え、麻酔科1か月を当院の必修プログラムとしています。一般外来20単位は内科や地域医療との並行研修になります。自由選択期間には研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができるような柔軟な対応が可能です。

全研修期間を通じて7～11系列の上級医とともに当直を行い、初期救急の現場における高い臨床能力を培うことができます。さらに各科のカンファランス、指導医によるクルーズ、臨床病理検討会、院内発表会、各種学会での発表など幅広い研修機会を設けています。

Voice 01 研修責任者の声

小児科医長

江崎 隆志（臨床研修管理委員会委員長）



当院は地域の中核病院で、重点医療に、周産期母子医療・小児医療などがあります。common diseaseだけでなく、幅広い疾患を経験できます。また中規模な病院で、研修医は1学年6名程度と少ない人数なので、皆がvividに関わることができます。独法化後、当院もより活発化し発展しつつあります。研修医という人生の大事なスタートで、やる気満々の若い皆さんと一緒に当院を発展させていきたいと思っています。是非やる気と熱意のある積極的な人材に来てほしいと思います。

研修スケジュール（例）

	1年次	2年次
4月	内科（呼吸器）	内科（循環器）
5月	内科（消化器）	救急2
6月	内科（糖尿病）	自由選択：放射線科
7月	内科（腎臓）	地域（連携）
8月	自由選択：麻酔科	精神科（連携）
9月	麻酔科	自由選択：脳神経外科
10月	外科	自由選択：整形外科
11月	救急1	救急3（連携）
12月	内科（脳神経）	自由選択：救命（連携）
1月	産婦人科	自由選択：泌尿器科
2月	小児科	自由選択：耳鼻咽喉科科
3月	自由選択：検査科	自由選択：皮膚科

ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント（R7採用）

三浦 久美子



当院は405床を有する、豊島区唯一の災害拠点病院です。地域の多くの患者さんを受け入れるとともに、総合周産期母子医療センターとして都内のハイリスク妊婦や新生児の救急搬送の受け入れにも常時対応しています。

初期研修医は外来・病棟ともに主体的に診療にかかわることができる環境があります。その一方で上級医の先生方が常に近くで見守りながら丁寧に指導して下さるため、安心して挑戦しながら学ぶことができます。また、病院全体が風通しのいい雰囲気と顔と名前が分かる関係性の中で働けるのも大きな魅力です。研修医同士は仲が良く、少人数だからその密度の高い関係性の中で支えあい切磋琢磨しながら研修に臨めます。ぜひ一度見学にいらして当院の雰囲気を感じてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

Information 病院概要

当院の重点医療は総合周産期母子医療・小児医療です。母体搬送や超低出生体重児の診療実績は都内有数です。地域中核病院として内科・外科をはじめとする総合診療基盤も充実しており、各種がん専門医による診断・治療から緩和ケアまで、リウマチ膠原病をはじめとする難病医療、地域医療との連携を重視した二次救急にも積極的に取り組んでいます。

所在地	〒170-8476 東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
TEL	03-3941-3211
病床数	一般405
診療科目	内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、小児科、新生児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、放射線科、口腔科、麻酔科、児童精神科、救急診療科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

駒込病院



Program 研修プログラムの特徴

当院は文京区の山の手の静かなエリアに位置しており臨床研修には恵まれた環境です。外科系と内科系に重みづけをしたプログラムを用意しています。がん診療の専門医が揃っており、経験豊富な各診療科スタッフや先輩レジデントたちが熱心に指導してくれます。また、臨床研修医のうちから検査、手術の色々な手技の経験をする機会が多いのも特徴です。学会発表、症例報告など学術活動の機会も多く、指導も手厚くしています。意欲のある皆さんを心からお待ちしております。

研修スケジュール（例）

	● 内科系の1例		● 外科系の1例	
	1 年次	2 年次	1 年次	2 年次
4 月	内科 (1)	内科 (6)	外科	選択
5 月	内科 (2)	選択 (1)		選択
6 月	総合診療科	選択 (2)	麻酔科	循環器内科
7 月		地域		腎臓内科
8 月	広尾ER	外科	総合診療科	外科
9 月	内科 (3)			
10 月	内科 (4)	内科 (7)	広尾 ER	墨東小児科
11 月	小児科	精神科	墨東産科	選択
12 月	産婦人科	内科 (8)	外科	地域
1 月	麻酔科	内科 (9)		精神
2 月		内科 (10)	消化器内科	糖尿内科
3 月	内科 (5)	選択 (3)	呼吸器内科	感染症科

※選択1：内科9科、腫瘍内科、感染症科の11科、および墨東病院ER、墨東病院救急救命センターから選択
※選択2：臨床検査科（超音波）を除く各診療科

※外科は6診療科から3つローテート。選択枠は院内外科系診療科もしくは院外ERなど選択可能。

Voice 01 研修責任者の声

肝胆脾外科部長

脊山 泰治（研修管理委員長）



当院はがん・感染症センターの名前どおりがん診療、感染症診療が充実しており、また各診療科も専門スタッフが多数在籍しており臨床研修には恵まれた環境です。外科系も最先端の手術を学びながら自らも手技を身につけることができる研修を提供しています。どの診療科でも経験豊富なスタッフや先輩レジデントたちが熱心に指導してくれます。臨床経験に加え学会発表、論文執筆など学術的なサポートも特徴です。意欲のある皆さんを心からお待ちしております。

ジュニアレジデント経験者の声

現在シニアレジデント1年次

廣田 良介



当院はがん・感染症センターの名の通り、全国からがんや感染症のエキスパートが集まり、質の高い医療を提供しています。私は消化器外科志望として、初期研修医のうちから手術はもちろんのこと、最先端のがん治療を学ぶことができました。上級医の先生方も非常に教育熱心で、症例のプレゼンや学術活動など、丁寧に指導してください。研修医同士も、内科・外科の垣根を越えて同じ目標を持つ人が多く、充実した研修生活を送れます。ぜひ一度見学にお越しください、お待ちしております。

Information 病院概要

各診療科の総合基盤を備えた、がんと感染症を重視した病院です。臓器別、疾患別に37の診療科に分かれ、それぞれ先端の専門医療を提供しています。各診療科が協力して重症患者の診療、全人的医療を行っています。「都道府県がん診療連携拠点病院」、「がんゲノム医療拠点病院」、「造血幹細胞胚移植推進拠点病院」、「エイズ診療中核拠点病院」に指定され全国から多数の患者を集めています。

所在地	〒113-8677 東京都文京区本駒込三丁目18番22号
TEL	03-3823-2101
病床数	一般785 感染症30
診療科目	内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、腎臓内科、肝臓内科、膠原病科、糖尿病内科、総合診療・救急科、精神腫瘍科、腫瘍内科、緩和ケア科、小児科、外科、食道外科、肝胆脾外科、胃外科、大腸外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、リハビリテーション科、骨軟部腫瘍科、脳神経外科、形成再建外科、皮膚・皮膚腫瘍科、腎泌尿器外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、歯科口腔外科、感染症科、感染制御科、麻酔科、輸血・細胞治療科、放射線診断科、放射線治療科、内視鏡科、病理科、遺伝子診療科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

豊島病院



Program 研修プログラムの特徴

内科の専門領域には呼吸器内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、感染症内科があり、6か月間しっかり研修に取り組むことで、多くの内科疾患の診療を経験し、身に着けることができます。外科の研修は3か月間あり、手技を習得する機会も豊富です。その他、地域医療(医師会の紹介による地域医療機関での研修)、二次救急、周産期医療、精神科救急、感染症医療、緩和ケア等の特色ある機能を生かした、プライマリケアを中心とする初期研修を受けることができます。

研修スケジュール(例)

	1 年次	2 年次	
4 月	内科 (28 週) (呼吸器内科、内分泌・代謝内科、 腎臓内科、血液内科、消化器内科、 循環器内科、脳神経内科、 感染症内科より 6 科選択)	地域医療 (4 週)	
5 月		精神科 (8 週)	
6 月		救急 (12 週※ 4 週まで麻酔科可)	
7 月			
8 月			
9 月			
10 月	外科 (12 週)	自由選択 (28 週)	
11 月			
12 月			
1 月	小児科 (6 週)		
2 月	産婦人科 (6 週)		
3 月			

Voice 01 研修責任者の声

腎臓内科部長
奥津 理恵 (臨床研修委員長)



豊島病院は板橋区を中心とした区西北部の中核病院です。内科や外科疾患も多く、多種多様な疾患の診療を経験することができます。また、救急医療・脳血管疾患医療・がん医療の重点医療の他、緩和ケア・精神科救急・周産期医療・感染症等も積極的に取り組んでいます。当院の研修では、プライマリ・ケアをしっかりとし、身に着けることができ、技術習得の機会が多いことが特徴です。研修医向けイブニングレクチャー、カンファレンスを行い、また、看護師やその他のコメディカルの連携がとてとり易く、アットホームであることも豊島病院の魅力です。沢山の経験を積みながら、充実した研修ができますので、是非お待ちしております。

Voice 02 ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R7 採用)
大関 彰護



豊島病院は区西北部の中核病院として周辺地域の多くの患者を受け入れており、研修に必要な診療科が揃っています。また、2年次には自由選択が6か月あり、希望者は他の都立病院等での外部研修を受けることもでき、個々の希望進路に合わせた柔軟な研修が可能です。少人数だからこそ多種多様な症例・手技を経験でき、院内での講習会や研修医向けのレクチャー等、豊富な学びの機会を得られます。病院全体の雰囲気もよく、働きやすい環境で、充実した2年間を過ごすことができると思います。ぜひ一度、豊島病院に見学いらしてください。

Information 病院概要

地域医療支援病院として地域連携を重視した医療を推進しています。重点医療課題として(1)救急医療：三次救急に近い急性心筋梗塞・吐血・脳卒中等を含む二次救急医療を実施しています。(2)がん医療：都のがん診療連携協力病院(胃・大腸)に指定され、高度の画像診断に基づく最先端化学療法・放射線療法や低侵襲の内視鏡手術、ロボット支援下手術を実施しています。また、緩和ケア病棟を備え、癌患者等の肉体的、精神的苦痛の緩和や家族の心理的支援に取り組んでいます。(3)脳血管疾患：脳卒中専門病床(SCU)を整備し、24時間対応の脳血管疾患医療を行っています。その他の特色として、精神科救急、周産期医療、和痛(無痛)分娩、感染症医療等が挙げられます。

所在地	〒173-0015 東京都板橋区栄町33番1号
TEL	03-5375-1234
病床数	一般386 精神32 感染症20
診療科目	内科、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、救急科、消化器内科、循環器内科、神経内科、感染症内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、消化器外科、胃外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、大腸外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、肛門外科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

荏原病院



Program 研修プログラムの特徴

地域中核病院としてcommon diseasesを中心に幅広く症例を経験できます。地域の2次救急病院として、1、2年目ともに救急診療科で必修研修を行い、総合的な診察能力の向上が図れます。また、麻酔科研修も必修となっており、集中治療や診療手技を学びます。当院には膠原病内科、腎臓内科、血液内科がありませんが、選択研修期間も多く設けており、この期間を利用して、大久保病院腎臓病内科、東邦大学医療センター大森病院膠原病内科、都立駒込病院血液内科などで研修を行うことができ、内科系のすべての診療科を網羅しております。各診療科、コメディカルと多職種でのチーム医療を実践しており、アットホームな雰囲気であって、少人数のため、指導医、上級医とマンツーマンできめ細やかな指導を受けることができます。

研修スケジュール(例)

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (24 週)	救急診療科 (8 週)
5 月		
6 月		小児科 (6 週) 産婦人科 (6 週)
7 月		
8 月		
9 月	地域医療 (4 週)	
10 月	救急診療科 (4 週)	精神科 (4 週)
11 月	外科 (8 週)	放射線科 (4 週)
12 月		自由選択 (16 週)
1 月	麻酔科 (8 週)	
2 月		
3 月	自由選択 (4 週)	

Voice 01 研修責任者の声

救急診療科医長
滝 元宏



荏原病院の初期研修プログラムでは、多様化を続ける医療に対応できる人材の育成と、キャリアパスの個別性へ配慮し、自由度の高いプログラムを提供しております。更に、各自の将来目標に合わせた個別ローテーションを組み、将来に生きるよう、幅広い選択肢の中から希望に合った研修を組むことが出来ます。また、研修医同士で経験を分かち合い、先輩医師から学び、お互いに切磋琢磨できる、厳しくも温かい研修環境もあります。皆さんの先輩として、臨床医の厳しさや喜びを分かち合いながら、充実した研修生活が過ごせる様にサポートをしていきたいと思っています。

Voice 02 ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R7 採用)
三根 稀華



当院は東京都大田区の総合病院であり、地域の中核病院としての役割を担っています。研修は各科1-2名で行うため、救急対応から病棟管理まで、上級医から丁寧な指導を受けることができ、手技の機会も十分あります。初期研修医は出身大学問わず全国から集まっており、とても仲が良く切磋琢磨しながら研修に励んでいます。中規模の病院で診療科も揃っており、落ち着いた環境で充実した2年間を過ごすことができます。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気を感じてみてください。

Information 病院概要

荏原病院の理念は、「医療で地域を支える」であり、大田区、品川区を中心に地域に密着した中核病院として機能しています。二次救急、脳血管疾患および集学的がん治療を重点医療とし、東京都の感染症指定病院となっています。また、小児科や周産期および精神科医療等のいわゆる行政的医療も行っており、まさに総合病院として研修することができます。

所在地	〒145-0065 東京都大田区東雪谷四丁目5番10号
TEL	03-5734-8000
病床数	一般411 精神30 感染症20
診療科目	内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、感染症内科、病理診断科、救急診療科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。



Program 研修プログラムの特徴

- (1) 1年次は、内科6か月、ER(救急医療研修)2か月とともに、外科2か月(1か月は一般外科以外も可)、麻酔科2か月は必修としています。1年次に小児科・産婦人科・精神科を研修する場合があります。
- (2) 内科は①消化器②呼吸器③循環器④血液⑤腎臓⑥膠原病⑦内分泌・脳神経⑧感染症の8グループでの研修とします。
- (3) 救急医療研修3か月については1年次の2か月間ERでの日中の診療と、2年次に月4回のER当直を従事することで3か月の研修とします。
- (4) 2年次は、地域医療、小児科・産婦人科・精神科(1年次で研修を行っていない場合)、一般外来1か月は全員が必修です。残りの自由選択については各々の将来志望診療科・要望に応じて相談の上、設定していきます。ほとんどの研修医は、救命センターでの2か月の研修を行っています。

研修スケジュール(例)

	1 年 次	2 年 次
4 月	内科 (8グループの内 3 グループをローテート)	小児科
5 月		産婦人科
6 月		精神科
7 月		一般外来
8 月		地域
9 月		救命救急センター (3次救急)
10 月	ER (1・2次救急)	自由選択
11 月		
12 月	麻酔科	
1 月		
2 月		
3 月	外科系 (1か月は一般外科以外の場合もあり)	

※ 詳しくはホームページをご参照ください。



研修責任者の声

脳神経内科医長
水谷 真之



日常診療から高度な専門医療まで幅広い診療を行う当院でのプログラムは、豊富な症例、教育熱心な指導医やシニアレジデントの存在など、医師の初期研修にふさわしい環境です。また、初期研修後の専門医コースも多数の基幹プログラムを有しており、初期研修から専門医制度での研修も続けて受けることも可能です。当プログラムではやる気に満ちた研修医を募集しています。ぜひ一緒に働きましょう。



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R7採用)
佐久間 理史



当院は救急医療に力を入れつつも急性期から慢性期まで幅広く多様な疾患に対応しており、将来どの分野に進むにあたっても必要とされる基礎力を養うに十分な経験を積むことができます。また、意欲的な研修医が多く、互いに刺激しあいながら日々成長できることに加え、指導熱心な先生方のサポートのもとで着実に臨床力を高めることができます。

充実した研修プログラムと志ある同期とともに、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。皆様の見学を心よりお待ちしております。

Information 病院概要

墨東病院は東京都の区東部(墨田区、江戸川区、江東区および葛飾区の一部)の約百数十万人の医療圏をカバーする広域基幹病院です。周辺に同様の病院が少ないことから、あらゆる救急医療をはじめ、様々な分野における基幹病院としての専門性も必要とされる地域の最終病院です。

所在地	〒130-8575 東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
TEL	03-3633-6151
病床数	一般719 精神36 感染症10
診療科目	消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、総合診療科、循環器内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、新生児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、歯科口腔外科、感染症内科、救急診療科、救命救急センター、麻酔科、放射線科、輸血科、内視鏡科、病理診断科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。



Program 研修プログラムの特徴

- 本物の実力をつけたい方のための教育環境
- (1) プライマリ・ケア(6年間一貫教育)
 - (2) コア・カリキュラムの実施
 - (3) 年次別到達目標:(J1)単独診療能力、(J2)主治医能力
 - (4) 総合診療能力の修得(2年間の救急外来研修)
 - (5) 「けが」診療能力の修得
 - (6) 独自の評価システム(救急外来グレード試験)
 - (7) 予備枠(補修研修プログラム・拡張研修プログラム)の創設

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	救急外来	呼吸器
5月	脳外	
6月	麻酔科	精神科
7月		予備枠
8月	消化器	救命救急センター
9月		産婦人科
10月	放射線	小児科
11月	総合診療	
12月	循環器	救急外来
1月		内科2
2月	外科	整形外科
3月	予備枠	地域



研修責任者の声

眼科部長

大野 明子(臨床研修管理委員長・プログラム責任者)



初期研修プログラムの選択に悩んでいる医学生の皆様へ

長い医師のキャリアのスタートという一生記憶に残る大切な時期を全国に多数ある初期研修プログラムのどれで過ごすか、難しい選択だと思います。

ぜひ目先のことでなく、将来どのような医療人になりたいか、よく考えてください。そのうえで、最初の2年間はしっかりプライマリケアを習得したいと決心したら、東京都立多摩総合医療センターをお勧めいたします。温かい、かといって生ぬるくはない研修環境は見学に来ていただくと感じ取れると思います



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント(R7採用)
富井 優



当院の魅力は何といっても雰囲気の良いさにあります。上級医の先生の手厚い指導のもと、プライマリケアを実践する上で必要な知識だけでなく、医師としての姿勢も学べる素晴らしい環境です。スーパーローテーションを主体とした研修ですが、不足しがちな分野については勉強会や研修でカバーされており、志望科を問わず2年間で幅広いスキルを身につけることができます。

また、研修医同士の仲も良く、日々切磋琢磨しながら楽しく研修しております。

Information 病院概要

多摩地域における唯一総合的な医療機能を持つ都立病院として、救急医療、脳血管疾患医療、生活習慣病医療、難病医療、リハビリテーション医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び造血幹細胞移植医療を重点医療とし、高度・専門医療を実施しています。

所在地	〒183-8524 東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
TEL	042-323-5111
病床数	一般705 精神36 結核29 感染症19
診療科目	総合内科、腎臓内科、消化器内科、内視鏡科、内分泌代謝内科、感染症内科、緩和ケア科、血液内科、脳神経内科、神経・脳血管内科、呼吸器・腫瘍内科、循環器内科、精神神経科、外科、乳腺外科、呼吸器外科(胸部外科)、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リウマチ膠原病科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理・検査科、救急・総合診療科、救命・集中治療科、ゲノム診療科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

多摩北部医療センター



Program 研修プログラムの特徴

本プログラムは基本的診療能力に重点を置いています。3年目以降の専門研修と連動させて、計5年間で一人前の臨床医(内科医・小児科医または総合診療医)を育成することを主眼としています。そのため、1年目の秋頃より自由選択期間を設け、将来進む可能性のある診療科をできるだけ早い時期に経験できるようにしています。2年次後半には、この期間を利用して弱い部分を補強したり、興味のある専門分野を重点的に研修したりすることも可能です。



研修スケジュール(例)

	1 年次	2 年次
4 月	基礎研修	麻酔科
5 月	基本研修 (内科系)	産婦人科 (多摩総合医療センター)
6 月		精神科 (国立精神・神経医療研究センター)
7 月		地域医療 (他院診療所)
8 月		救急／総合診療
9 月	血液	自由選択 ※2年次研修は応相談で時期の組替可。
10 月		
11 月	救急／総合診療	
12 月	救急／総合診療	
1 月	選択	
2 月	外科	
3 月	小児科	

Voice 01 研修責任者の声

神経内科部長
網野 猛志



当院は中小規模でありながらも診療科が充実しており、多様な症例を経験できる環境が整っています。包括的な地域医療も担っており、初期研修医の皆さんが幅広い診療領域でスキルを磨き、患者さまに寄り添った医療を提供する力を培うことができます。少人数制の指導体制により、アットホームな雰囲気の中で指導医やスタッフとの密接なコミュニケーションが可能で、一人ひとりの目標や希望に合わせた丁寧なサポートが受けられます。

Voice 02 ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R7採用)
石川 瑞菜



当院は自然豊かな静かな環境にあり、内科をはじめ診療科も豊富です。マンツーマンの丁寧な指導のもと、common diseaseを中心に幅広い症例をじっくり学べます。個々の希望に沿った柔軟なプログラムに加え、指導医のみならず全スタッフが研修医を気にかける「一人ひとりの成長を大切にする環境」が整っています。ぜひ一度見学にお越しいただき、「たまほく」ならではの温かい魅力を感じてみてください。

Information 病院概要

北多摩北部医療圏(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)の中核病院として、二次救急医療を担っています。小児から超高齢者まで全年齢層を診療対象とし、地域医療支援病院として、地域住民に安全・安心な医療を提供しています。平成30年度に病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)、令和2年に外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の認定を受け、チーム医療の充実に努めています。

所在地	〒189-8511 東京都東村山市青葉町一丁目7番1号
TEL	042-396-3811
病床数	一般337
診療科目	総合診療科、内科、内分泌・代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、小児科、精神科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、麻酔科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、リウマチ膠原病科、病理診断科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

東部地域病院



Program 研修プログラムの特徴

内科6か月(消化器・呼吸器・循環器各2か月)、救急部門3か月、外科3か月、麻酔科2か月、小児科2か月、地域医療1か月、産婦人科1か月、精神科1か月を必修プログラムとしています。

地域医療は当院及び近隣協力施設、離島等での研修、救急部門及び産婦人科は墨東病院あるいは順天堂大学医学部附属順天堂医院での研修、精神科は墨東病院での研修となります。

自由選択期間5か月については、研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができます。必修プログラムの診療科のほか、整形外科、脳神経外科、放射線科、泌尿器科、眼科、病理診断科を加えた診療科のなかから、1科目を月単位で最大5コマまで選択可能です。

研修スケジュール(例)

	1 年次	2 年次
4 月	内科 (消化器)	小児科
5 月		
6 月	内科 (呼吸器)	地域医療
7 月		
8 月	内科 (循環器)	救急部門 (墨東病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
9 月		産婦人科 (墨東病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
10 月	外科	精神科 (墨東病院)
11 月		選択研修 (東部地域病院 / 墨東病院 順天堂大学医学部附属順天堂医院)
12 月		
1 月	救急部門 (墨東病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院)	
2 月	麻酔科	
3 月		

Voice 01 研修責任者の声

副院長
鈴木 聡子 (臨床研修管理委員長)



当院は地域医療支援病院として認定され、地域医療機関との連携を密にした病院です。

当院では、研修を通じて疾患のみではなく患者さんを全体としてとらえ、プライマリケアのできる医師の基礎を学ぶことができます。優秀な指導医・スタッフのもと、アットホームなやさしさの中にも厳しさを忘れない充実した研修ができると確信しております。ぜひ、東部地域病院の門をたたいてみてください。病院見学也大歓迎です。ご連絡をお待ちしております。

Voice 02 ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント (R7採用)
松田 惟史



東部地域病院へようこそ！当院は地域医療に根ざした市中病院ということもあり、各診療科においてcommon diseaseを含めた頻度の多い疾患を経験することができます。また研修医の人数が少ないためマンツーマンでの丁寧な指導を受けながら研修することができます。中規模病院であるため各診療科の垣根が低く相談しやすく雰囲気の良い環境です。墨東病院や順天堂大学病院での研修も可能であり、自由度の高いローテーションが可能です。ぜひ一度見学に来てください！

Information 病院概要

東京都の東部地域(葛飾・足立・江戸川・墨田・江東・荒川の各区)における中核病院です。急性期疾患を対象にがん医療、救急医療を中心に二次医療を行っています。地域医療支援病院(都内指定第1号)として、地域の医療機関(診療所等)と積極的な連携を図りながら、医療の継続性を確保し、地域住民の方々に適正な医療を提供しています。

所在地	〒125-8512 東京都葛飾区亀有五丁目14番1号
TEL	03-5682-5111
病床数	一般314
診療科目	内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

多摩南部地域病院



Program 研修プログラムの特徴

スーパーローテート方式により、内科、外科、小児科、救急、緩和ケア、精神、地域医療、産婦人科を必修科目とし、64週で効率よく研修し、残り40週を選択診療科目として各研修医個別のプログラムを組むことが可能となっています。特に、重点医療（救急・がん医療）に関連する診療科である循環器内科、整形外科、放射線科（診断・治療）、検査科（病理）では研修体制も整っています。CPCのほか地域医療支援の研修会が行われています。

研修スケジュール（例）

1 年次		2 年次			
4 月	内科 ＋ 一般外来		小児科		
5 月			産科 (日本医科大学多摩永山病院)		
6 月			精神 (桜ヶ丘記念病院)		
7 月			地域医療 (天本病院)		
8 月	循環器内科＋一般外来	救急 (当直)	緩和ケア	救急 (当直)	
9 月			選択		
10 月					
11 月					
12 月	外科＋一般外来				
1 月	麻酔科				
2 月					
3 月	救命救急 (日本医科大学多摩永山病院)				



研修責任者の声

副院長

手塚 徹（臨床研修委員会委員長）



当院は、名前に「地域」とうたっております通り、地域のかかりつけ医の先生方や医療に携わる方々を様々なかたちで支援することで、地域住民の皆さんの生命と健康を支えていくという使命をもつ病院です。平常時は、救急医療やがん医療に重点をおき、自然災害や大規模事故の際には災害医療にも積極的に参加しております。当院の病床数は287床、常勤医は50人程度と中規模ではありますが、大学とは異なり各診療科別に部屋や区切りがあるわけではなく、アットホームな雰囲気の中で、ベテランの医師とも患者のことや進路の相談など気軽にコミュニケーションをとることができます。研修については各科指導医とマンツーマン体制でおこなっておりますのでキメの細かい医療を学ぶことができます。

研修プログラムについては、総合的な臨床医の育成を目指すことを基本としており、産婦人科・精神科・緩和ケア科を必修科として残しながら、40週間の選択期間において各研修医個別のプログラムを組めるようになっております。

多摩というと都心からだいぶ離れている印象がありますが、新宿から35分、近い将来リニア新幹線の発着駅の橋本からは10分の多摩センター駅から徒歩12分という立地で、東京都内ではありますが春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪化粧と四季折々の風景が楽しめます。この自然に恵まれた多摩の地で、ぜひとも研修をスタートしましょう。

ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント（R8採用）

杉山 諒奈



初めまして！初期研修医1年目の杉山と申します！初期研修を始める前は不安もありましたが、指導医の先生や2年目の初期研修医の先生はもちろんのこと、コメディカルの方々とも距離が近いので、病棟業務や手技について1から丁寧に指導いただける環境が整っています。そのおかげで、日々安心して学ぶことができ、医師として一歩ずつ着実に成長できていると実感しています。

この病院の温かく、のびのびと学びやすい雰囲気はぜひ実際に見学に来て感じてもらいたいです。私たちと共に充実した研修生活を送りましょう！ご応募お待ちしております！

Information 病院概要

東京都南多摩保健医療圏（八王子・町田・日野・多摩・稲城の5市）の中核病院として、「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関と密接に連携し、救急医療・がん医療を重点医療として取組んでいます。特に、がん医療では、包括的にがん医療を提供できるよう平成25年7月から緩和ケア病棟を開設しました。

所在地	〒206-0036 東京都多摩市中沢二丁目1番2号
TEL	042-338-5111
病床数	一般287
診療科目	内科、精神科、循環器内科、消化器内科、小児科、緩和ケア科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、検査科（病理）

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

松沢病院



Program 研修プログラムの特徴

当院で初期臨床研修を希望されるのは、将来精神科医師を目指す方だと思います。初期臨床研修医の育成目標は、「身体疾患の初期対応ができる精神科医師の育成」となっております。その育成目標を達成するために、救急科や各分野の内科研修、総合診療科研修を充実させています。当院での研修の醍醐味は二つあります。①合併症医療と②緊急措置入院対応です。精神疾患患者では、自己の状態をうまく表現できなかったり、体調不良を認識したり訴えたりすることのできない患者さん、転倒し大腿骨頸部骨折を受傷しても歩いてしまう患者さんなど、精神疾患を持たない患者さんよりも早期に疾患を特定することが困難なケースが多くみられます。合併症医療に習熟した当院一般科医師ならではの対応をぜひ体験し吸収してください。そういった合併症医療に初期臨床研修医から触れることができる点が大きなメリットです。また、当直での緊急措置入院対応では、どんな所見に注目して緊急措置入院を決定しているのかといった細かい機微を各当直精神科医師から直接に学ぶことができます。非常に勉強になると思います。松沢病院でしかできない研修を用意して皆様が来られるのをお待ちしております。



研修責任者の声

整形外科医長

吉田 滋之（初期臨床研修管理委員長）



松沢病院での研修の特徴は何と言っても合併症医療です。精神疾患患者の身体疾患合併時の治療を、精神科治療と平行しながら経験することができます。体調による精神状態の変化や熟練の精神科医師による薬剤調整、経験豊富な一般科医師による治療をぜひ経験し吸収してください。

合併症医療の現状と将来の精神科医療の課題について一緒に考えてゆけると思います。

松沢病院では「誰一人取り残さない医療」「誰一人傷つけない精神科医療」を目標に精神科医療を進めてまいります。是非お待ちしております。

Information 病院概要

松沢病院は、東京都の精神科医療の拠点病院です。世田谷区に191512㎡もの広大な敷地を有しております。2025年3月末の時点で898床（一般90床、精神808床）の許可病床数を有しています。病院長、精神科副院長、5名の精神科部長のもとで40名ほどの精神科医師が、精神科医療にあたっております。精神科救急や急性期医療を中心として、慢性期医療、身体合併症医療、薬物依存症医療、認知症医療など非常に幅広い精神科医療を行っております。精神科デイケアや訪問看護も行っており地域の精神科病院とも連携を取りながら都の精神科医療の拠点病院としての役割を担っております。また、合併症医療では、一般科副院長、内科部長、外科部長、整形外科部長を中心に各分野の専門医師が精神疾患に合併した身体的問題の解決にあたっています。精神科専門研修医19名、初期臨床研修医16名が病院に所属し研修に励んでいます。

研修スケジュール（例）

	1 年次	2 年次
4 月	内科	精神科
5 月	精神科	救急
6 月	外科	選択
7 月	麻酔科	選択
8 月	内科	小児
9 月	内科	救命
10 月	内科	脳卒中
11 月	内科	選択
12 月	放射線科	地域
1 月	整形外科	産婦人科
2 月	救急	選択
3 月	内科	予備枠（選択）



ジュニアレジデントの声

ジュニアレジデント（R7採用）

曾我 鷹平



松沢病院の初期研修では、内科や外科の研修においても精神疾患を有する患者さんに接する機会が多く、日々の診療を通じて偏見を持たずに患者さんと向き合う姿勢を学ぶ事ができます。当直では緊急措置診察の陪席を経験でき、精神科医を志す方にとって大きな学びとなります。さらに、自由選択では都立病院機構に属する病院を中心に幅広い選択肢からローテーションを組んで、総合的な臨床力を身に付けられるのも大きな魅力です。ぜひ一度見学にいらしてください。

所在地	〒156-0057 東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号
TEL	03-3303-7211
病床数	一般90 精神808
診療科目	精神科、内科、脳神経内科、形成外科、外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、歯科、リハビリテーション科に常勤医師が配置され入院診療を行っている。非常勤医師で外来のみ対応：耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、婦人科

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。